



血液検査で何がわかるの？

血液検査では主に体の中の状態がある程度わかることが多いのです。

検査項目としては、**貧血**や**脱水**を見る項目。**炎症**があるかどうかを見る項目。
肝臓の機能を見る項目。**腎臓の機能**を見る項目。
糖尿病でないかどうか見る項目など色々あります。

それでは、その検査項目についてもう少し詳しく説明しましょう。

① 貧血や脱水があるかどうか

赤血球数 **ヘマトクリット値** **ヘモグロビン値**の3つで見ます。

これらが正常よりも少ない値であれば、**貧血**が存在していることがわかります。逆に正常よりも高ければ、**脱水**が存在しています。

② 炎症があるかどうか

白血球数で見ます。正常よりも高い値であれば、体の中のどこかで**炎症**があるんだとわかります。正常よりも低い値であれば、**抵抗力の低下**が心配です。

③ 肝臓や胆嚢系統の機能

GPT、**GOT**、**ALP**で見ます。正常よりも高い値であれば、**肝機能の低下**など疑えます。

④ 腎臓の機能

BUN（尿素窒素） **Cre**（クレアチニン）腎臓の機能を見るものです。これらが両方高い場合には、**腎機能の低下**があるかもしれません。

⑤ 糖尿病でないかどうか

血糖値を見ます。これが高い場合には、**尿に糖分**が出てしまうため糖尿となります。

例えば・・・

白血球が高く、GPT・GOTがとても高くなっている場合は、**肝炎**が疑われます。また、白血球が高く、BUN・Creが高い場合には、**腎炎**が疑われます。貧血があって、BUN・Creが非常に高い場合には、**慢性の腎不全**があるのではないかと。このように、項目は単独で見のではなく、それぞれを組み合わせせて見ていきます。そうすることにより、有益な情報を得ることが可能になるわけです。

また、体の具合によっても、どの検査をするかをきめることもあります。最近、とって食欲があつて、水もがぶがぶ飲んで、オシッコもいっぱい出る。それなのに痩せてきているようだ。こんなときは**糖尿病**を疑い、血糖値を測ることにより、**糖尿病**なのかどうかの判断がつかます（尿検査でも、**糖尿病**かどうかの判断はつかます）。



ワンちゃん、ネコちゃんは**かわら版のNo. 1**でも書いたように、**1年で大人**になり、あとは**人間の4倍の速度**で歳をとっていきます。

ですから是非、半年に1回は血液検査を受診してください。

また、急激な温度変化で体に**ストレス**を感じると、体調を崩すことも多いものです。特に**高齢**になってきたら、定期的な血液検査は体調を見る良い指標になるのです。

最後まで読んでいただき有難うございました！